

明治大学大学院
国際日本学研究科
(博士前期／後期課程)

文化・思想研究領域



文化・思想領域とは

日本のことを知るにしても、世界の他の地域のことを知るにしても、そこに生きる人々がどのような文化を持ち、どのようなことを考えてきたのかという視角は欠かせません。この領域では、過去から現在へと至る世界各地の文化や思想について、幅広い視点から研究していくことを目指します。文献資料や有形・無形の文化財を知的資源として活用していくための調査・分析技術を習得し、さらに、その外側と内側に広がっている文化や思想にアプローチしていきます。



専任教員

※教員詳細は写真をクリック





教員（専門分野）

| | | |
|-----|---------------------------------------|---|
| 教授 | 鵜戸 聡 (フランス語圏アラブ = ベルベル文学研究) |  |
| 教授 | 小谷 瑛輔 (日本近現代文学) |  |
| 講師 | 張 佳能 (ポピュラー音楽研究、カルチュラル・スタ ディーズ) |  |
| 教授 | 長尾 進 (身体教育学 - 武道論) |  |
| 准教授 | 馬場 小百合 (日本上代文学) |  |
| 教授 | 美濃部 仁 (哲学、特に宗教哲学) |  |

研究指導担当教員

※教員詳細は写真を

教員（専門分野）

| | | |
|-----|---------------------------------------|---|
| 教授 | 小谷 瑛輔 (日本近現代文学) |  |
| 講師 | 張 佳能 (ポピュラー音楽研究、カルチュラル・スタ ディーズ) |  |
| 准教授 | 馬場 小百合 (日本上代文学) |  |
| 教授 | 美濃部 仁 (哲学、特に宗教哲学) |  |



過年度の修士論文テーマ (博士前期課程)

- ▶ ロールズ『正義論』における反照的均衡と道徳的直観の意義
- ▶ ロック・ミュージックにおける畸形性
- ▶ エマニュエル・レヴィナスにおける感受性と意味作用
 - 「発話と沈黙」から『全体性と無限』へ—
- ▶ 「空・転」する知
 - 西谷啓治『宗教とは何か』をめぐって—
- ▶ 滝沢克己と久松真一
- ▶ ニヒリズムは超克できるのか
 - 西谷啓治のニーチェ理解—



過年度の修士論文テーマ (博士前期課程)

- ▶ 坂口安吾「桜の森の満開の下」論
 - 「文学のふるさと」のテーマの戦後–
- ▶ 向田邦子の自伝的エッセイと虚構性
 - 『映画ストーリー』編集者時代について
- ▶ 『COM』読者投稿欄「ぐら・こんロビー」の研究
 - 〈手塚神話〉と「マンガ世代」–
- ▶ オスカー・ワイルドのホモセクシュアリティの日本における受容
 - 谷崎潤一郎を中心に–
- ▶ 谷崎潤一郎「魔術師」論–日本表象とエキゾティシズム–
- ▶ 国木田独歩におけるThomas Carlyle受容
 - 「牛肉と馬鈴薯」「岡本の手帳」と"The Diamond Necklace"の比較を通して–



過年度の修士論文テーマ (博士前期課程)

- ▶ <オーストリア・ミュージカル>、その形成と確立
 - 『フロイディアーナ』から『エリーザベト』へ
- ▶ 武術・武術における「小太刀」に関する研究
 - 日本剣道形への「小太刀の形」採用の背景を探る
- ▶ インダストリアルデザインと自己イメージ
 - ドン・ノーマンの「三つのレベル」を手がかりに



過年度の博士論文テーマ (博士後期課程)

- ▶ Wiener Musicals and their Developments:
Glocalization History of Musicals between Vienna and Japan
〈ウィーナー・ミュージカル〉の諸展開
ーウィーンと日本におけるミュージカルのグローカリゼーション史ー
- ▶ 西谷啓治の「空」の立場における自己の主体性

